

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

数値は%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか。	46	31	15	8	クールダウンする場所や落ち着ける場所などの部屋（相談室）は時間帯などによっては使えないことがある。 基準の利用定員（10名）を超えている日がある。 稀に人数によって机が狭くなり、ゆったりと過ごすことが難しいときがある。
	② 職員の配置は適切であるか。	54	46			個別対応が必要な児童が利用の時など、場合によっては満足な療育がしきれない日がある。 平日、休日共に適切な人員だと考える。 適切であるが、職員の急な欠勤により人員が足りていない時がある。
	③ 事業所に設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	77	15		8	掃除や整理によって子どもたちが使いやすいように日々、変化している。 視覚的スケジュールを提示し過しやすいように配慮している。 1人ひとりの特性をよく理解し、環境整備をしたい。
	④ 生活空間は、清潔で心地役過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	69	23		8	教材やおもちゃの整理を委員会を中心に行い環境整備している。 その都度、職員で話し合いながら、適切な空間を作っている
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	62	23		15	反省点を振り返る機会があまりない。 活発に意見を出せるようにしたい。 支援会議等で振り替わり、共有できる時間が増えてきている。
	⑥ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	92			8	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	77	15		8	
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	92			8	事業所内研修を年に数回行い資質向上に努めている。

適切な支援の提供

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	92		8		一つ一つのアセスメントを丁寧に行っている。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るため標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	54	31		15	アセスメントツールの使用があまりできていない為活用したい。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	62	15	8	15	委員会のメンバーにて行っている。今はあまりできておらず、マンネリ化している為、新たな意見を出し合いたい。
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	76	8	8	8	週ごとに運動を設定 工夫はしているがもっとバリエーション豊富にした方がいい
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	92	8			多忙な場合はきめ細やかに考えられない日がある。 スケジュールを決めて活動を設定している。 長期休暇用の課題も都度用意している。 その日の子どもの状況に応じても設定出来ている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	84	8		8	個別活動が職員配置の関係で難しい場合がある。 保護者様のご要望をもとに計画を立てている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	77	23			朝礼で確認している。1ヶ月分の役割分担が分かっているので療育の計画が立てやすい。
⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援振り返りを行い気付いた点を共有しているか。	62	31	7		終礼はしているがシフトの関係で休みの職員もいる為周知方法に課題がある。 時間が限られ内容がまとまりきらない場合もある。 ホワイトボードなども活用し、共有しやすい環境になってきている。
⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援計画の検証・改善につなげているか。	69	15	8	8	連絡帳にて記録している。 出来てはいるが、改善につなぐことが難しい場合がある。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	92		8		見直しがあった児童発達支援計画書の確認を徹底したい。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	62	15		23	五領域をもとに支援計画を作成している。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	62	7		31	電話にて情報共有をすることがある。

関係機関 や保護者 との連携	⑲	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	85	15			保護者様から下校時間の連絡をいただいている。 情報共有が出来ていない学校もあると思う。
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	46	8	15	31	情報共有ができていないことが多い。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	31	15	8	46	実例が少ないが今後移行の児童がいる場合はしていきたい。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	54	15		31	
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	30	8	54	8	児童館など積極的に利用し公共の場でのマナーなど学べていると思う。
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		62	31	
	㉕	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92			8	共通理解がとれるよう努力している。 連絡帳の他に送迎時にもお伝えできるようにしている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	31	38	23	8	今後していきたい。
保護者へ	㉗	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	92			8	
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	84	8		8	
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	92	8			
	㉚	子どもや保護者からの相談申し入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合、迅速にかつ適切に対応しているか。	77	15		8	

の 説 明 責 任 等	③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	84	8		8	定期的にブログやSNSで報告している。以前よりブログやインスタの投稿が増えた。
	③④	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	84	8	8		
	③⑤	障害のある子どもの保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	92	8			その都度メールや電話にて行っている。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	22	62	8	
	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	84		8	8	保護者に周知しきれていない為ホームページでの公表などを検討している。
適 切 な 支 援 の 提 供	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	92			8	
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	84	8		8	
	④⑩	どのような場合にやむ負えず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか。	76	8	8	8	
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	54	23	8	15	アレルギー対応必要か契約時に確認している。 今のところアレルギー児はいないが、いる場合は医師の指示に従い対応している。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100				努力しているが、より周知できるよう終礼にて都度共有できるようにヒヤリハット事例を報告する時間を設けている。